

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2018 No.511

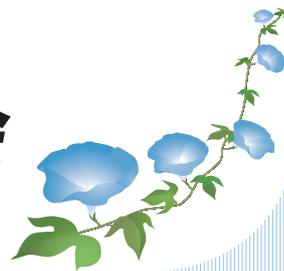
7/1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



第79回 公益社団法人 日本診療放射線技師会 定時総会 開催される



平成30年6月2日(土)午前11時より、日経ホールにおいて第79回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催された。

佐野副会長による開会の辞に続き、中澤会長があいさつをされた。

定時総会は表彰から行われ、表彰委員会 山本委員長より功労表彰の報告があった。功労表彰受賞者は、北村善明さま、小川利政さま、小川清さま、田城邦幸さま、安田鋭介さまであり、中澤会長より授与式が執り行われた。次に藤井理事より昨年度地域学術大会で学術奨励賞を受賞された方々が紹介された。

総会運営委員会 松本委員長より、代議員の出席者数および本総会の成立が報告され、議長には大野肇氏(北海道)および佐藤英俊氏(神奈川県)が選任された。

報告事項は、平成29年度事業報告、平成29年度決算報告および平成29年度監査報告であった。平成29年度事業報告は中澤会長より総括の説明があり、平成29年度決算報告は小田理事より説明があった。平成29年度監査報告では、独立監査人による監査報告が大光監査法人よりあり、公正妥当と認められると報告された。本会の監査報告では、新開監事より法令および定款に従っている旨の報告がされた。またここ数年は赤字が続き、財政的に非常に厳しい状況であるため、収支のバランスの取れた事業展開の必要性が述べられ、より一



層の入会促進活動を行っていただきたいと要望された。

議案は、第1号議案から第4号議案であり、第1号議案、平成30年度事業計画(案)について中澤会長より説明があった。第2号議案、平成30年度予算(案)については小田理事より説明があり、会場から10件ほどの質疑応答があった。第1号議案および第2号議案は賛成多数で可決された。また平成30年度スローガンについても「国民と共にチーム医療を推進しよう」が承認された。第3号議案、会費等納入規程の改正案については熊代副会長より説明があり、賛成多数で可決された。第4号議案は、平成30年度・31年度役員を選任であり、代議員の投票により役員立候補者が全員可決された。

最後に、閉会の辞を熊代副会長が述べ、本総会は無事に終了した。なお本総会の詳細な内容は、会誌8月号掲載予定の総会議事録(抄)を参照されたい。



日本診療放射線技師会 平成30年度・31年度 新執行部

会長



中澤 靖夫
東京都

副会長



佐野 幹夫
愛知県



熊代 正行
岡山県

監事(外部監事)



室野井 廣
埼玉県

監事



新開 英秀
福岡県



小川 利政
大阪府

理事(外部理事)



豊田 長康
三重県



西貝 圭子
東京都



鈴木 毅厚
東京都



理事（地域理事）



富田 伸生
北海道（北海道地域）



船水 憲一
青森県（東北地域）



小黒 清
栃木県（北関東地域）



篠原 健一
東京都（南関東地域）



山本 英雄
静岡県（中日本地域）



高嶋 敏光
奈良県（近畿地域）



茂木 大志
愛媛県（中四国地域）



江藤 芳浩
大分県（九州地域）

理事（全国理事）



廣木 昭則
佐賀県



小田 正記
東京都



中村 勝
愛知県



藤井 雅代
東京都



江田 哲男
東京都



松田 恵雄
埼玉県



富田 博信
埼玉県



吉井 章
埼玉県



吉川 典子
岐阜県



児玉 直樹
新潟県



西川 祝子
千葉県

事務局長



上島 隆

平成30年度 第3回理事会 開催される

平成30年6月2日(土)午後3時より、日経ホールで第3回理事会が開催された。本理事会は役員選任後の最初の理事会であった。

初めに、代表理事および業務執行理事の選出が行われ、会長に中澤靖夫理事、副会長に佐野幹夫理事と熊代正行理事、業務執行役員に小田正記理事が決定した。また平成30年度・31年度の新体制が発表され、承認された。

中澤会長のあいさつの後、議案について審議された。放射線取扱主任者定期講習業務規程について小田理事より説明があり、賛成多数で承認された。次に、国際学術交流助成規程改正案および渡航助成金について熊代副会長、児玉理事より

提案があり、こちらも賛成多数で承認された。また「WHO西太平洋地域事務局活動を支援する会」については、事務局長の交代について、および入退会者についての資料が提出され、いずれも承認された。

報告事項として、山内秀一大会長より第34回学術大会について、コンgresブックの発刊について、医療被ばく低減施設認定更新報告、総務理事報告、ワークショップの予定や今後のスケジュールの確認が行われた。

詳細な議事・報告内容については、平成30年度第3回理事会議事録(抄)を参照されたい。



放射線サーベイ検査実習開催のご案内

INFORMATION

最新のサーベイメーターの基礎的な使い方から、実際に模擬線源を使用してサーベイ検査の測定実習を行います。測定器に触れたことのない方も、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

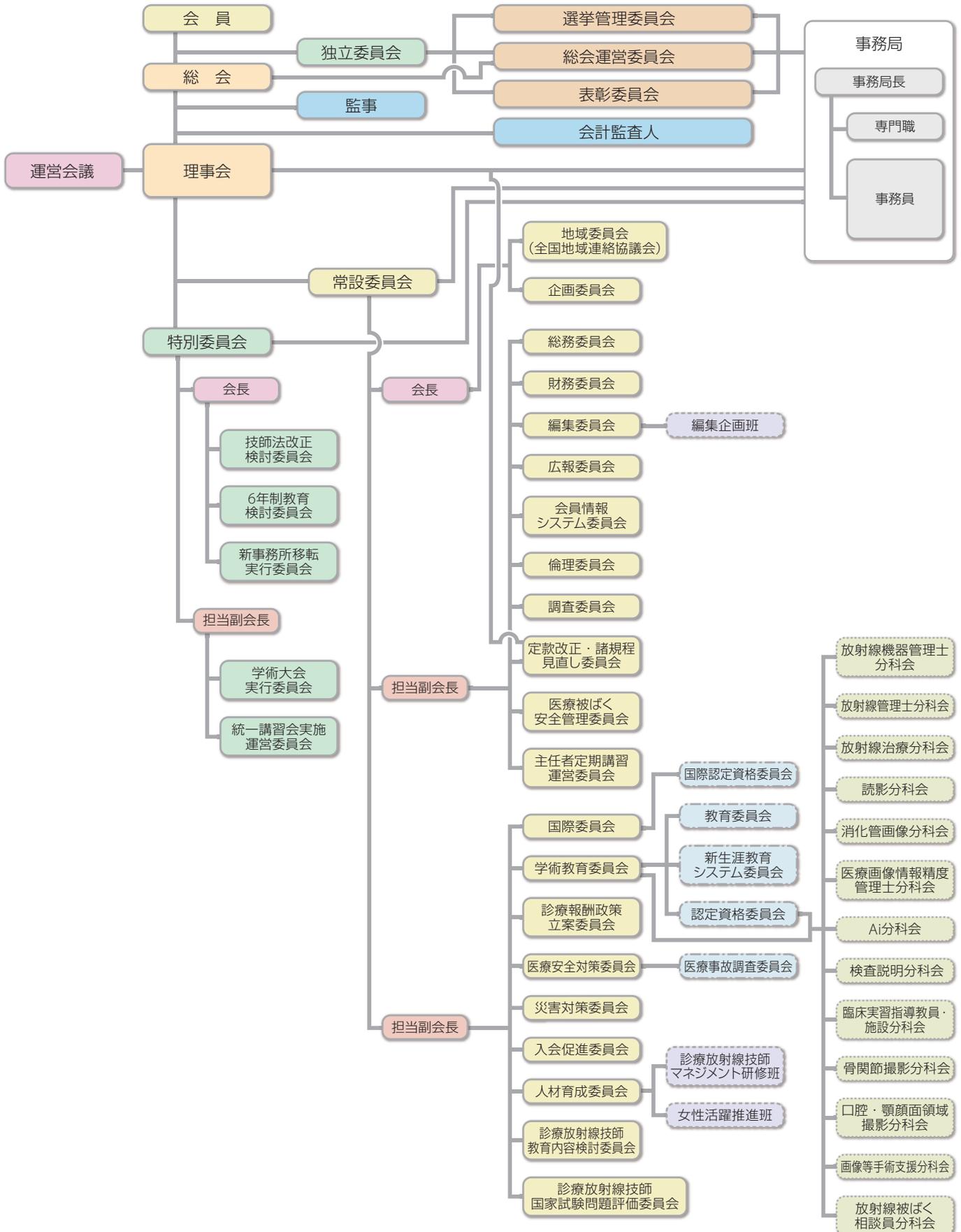
(災害対策委員会・放射線管理士分科会合同企画)

- 講習会名：放射線サーベイ検査実習
- 日 時：平成30年9月21日(金) 10:30~11:30
- 場 所：下関市生涯学習プラザ 2階 学習室3
- 定 員：20人



放射線サーベイ検査実習の様子(第32回 岐阜学術大会において)

公益社団法人日本診療放射線技師会 平成30年度・31年度 組織図



医療被ばく低減施設認定の申請募集

INFORMATION

医療被ばくに関して、診療放射線技師が責任を持って情報の開示や十分な説明をすることは当然である。本認定事業は、医療用放射線利用による医療被ばくを低減している施設が、この認定に向けて準備を行うことで、改めて医療被ばく低減への取り組みを振り返っていただき、また国民に「医療被ばく低減(医療被ばくの適正化)」という情報を提供することで、結果として医療提供側・患者側の双方に大きなメリットとなる。

この認定事業は時期を問わず募集しているが、審査料や認定料が発生するため自施設で予算を取っていただく必要がある。審査費用は、書面審査料は無料、訪問審査料は審査項目に核医学を含まない施設が3万円、審査項目に核医学を含む施設が8万円、認定登録料が2万円である。この医療被ばく低減施設認定の審査は、本会からお送りする調書による書面審査とサーベイヤーが施設まで直接審査に訪れて実施する訪問審査があり、訪問審査は書面審査に合格した施設に対して実施する。この認定制度は、真正性と公平性および継続性を確認するため、認定期間を5年間とした更新制度となっている。

審査希望の施設は、本会ホームページ <http://www.jart.jp/activity/teigenshisetu.html> をご参照の上、ぜひご申請いただきたい。



国際モダンホスピタルショウ2018(第45回)のご案内

INFORMATION

病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器・製品・システム・サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与することを目的に開催される「国際モダンホスピタルショウ」が、下記の通り開催されます。

- テーマ：健康・医療・福祉の未来をひらく～世代と国境を越えた豊かな共生を目指して～
- 主催：一般社団法人日本病院会、一般社団法人日本経営協会
- 会期：2018年7月11日(水)～13日(金)
- 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)東展示棟/会議棟
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

- 展示内容：医療環境設備・機器、医療機器・材料、医療情報システム、看護支援関連、介護・リハビリ支援関連、健診・ヘルスケア関連、病院・介護・医療施設運営サポート・サービス、医療関連書籍・出版物、医療・福祉団体事業紹介ほか、主催者セミナーなどが開催されます

詳細は、ホームページ <https://noma-hs.jp/hs/2018/> をご確認ください。

興味のある方はぜひご参加ください。入場は原則として招待券持参もしくは事前登録者となっております。招待券・事前登録のない方は入場料が3,000円(税込み)となっております。



本会への入会手続きについて(お知らせ)

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちら」をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。



本会の動き

診療放射線技師教育内容検討委員会より

診療放射線技師教育内容検討委員会では、主に診療放射線技師学校養成所指定規則および診療放射線技師養成所指導ガイドラインの見直しについて検討しています。

診療放射線技師教育内容検討委員会が設置された経緯は、日本診療放射線技師会が平成26年7月25日付日放技発第388号で、厚生労働省医政局長および文部科学省高等教育局長宛にて、診療放射線技師教育における臨床実習のあり方に関する検討会設置の要望書を提出したことから始まります。要望書の提出の契機は、平成25年11月7日に起こった神戸市内のクリニックにおける診療放射線技師法違反事件です。撮影時の患者ポジショニングおよび機器セッティングも撮影行為の一部であると指摘され、看護師などがセッティングを行っても最終的に医師が照射ボタンを押せば適法であるとの誤った認識があると指摘されました。臨床実習時の患者ポジショニングなどにおいても国家資格を有していないことから、診療放射線技師法第二条第二項に抵触する可能性があり、本来の患者を対象とした臨床実習の目的が達成されず、教育水準の低下による将来の診療放射線技師の質の低下を招くとの懸念があるため、診療放射線技師学校養成所指定規則および診療放射線技師養成所指導ガイドラインの見直しについて検討することになりました。

その後、全国診療放射線技師教育施設協議会から6人、本会より5人の委員、計11人の委員で診療放射線技師関連法令および臨床実習のあり方検討委員会を5回実施し、診療放射線技師関連法令および臨床実習のあり方検討委員会報告書を取りまとめました。さらに本会と全国診療放射線技師教育施設協議会と5回の協議を重ね、診療放射線技師関連法令および臨床実習のあり方報告書(平成29年3月29日案)を作成し、厚生労働省へ提出しました。この診療放射線技師関連法令および臨床実習のあり方報告書を基に、平成30年3月29日、厚生労働省において診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会が設置され、議論が始まることになりました。今後、1年をかけて検討会で議論され、最終的に診療放射線技師学校養成所指定規則および診療放射線技師養成所指導ガイドラインの改正が行われる予定です。

診療放射線技師教育内容検討委員会では、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会の議論に合わせ、診療放射線技師学校養成所指定規則および診療放射線技師養成所指導ガイドラインの見直しについての提言を行っていきます。

(文責：児玉直樹)

「凜」

「凜」という言葉がある。それは物事に動ぜず自己というものをしっかり持っていることを意味している。自分もそのような人間になりたいと思うが、周りの視線や意見に左右され、なかなかそのようにはなれていない。私が知っている人物で、この「凜」とした人がいる。戦後の混乱期に風のように現れた「白洲次郎」である。

彼は敗戦後、GHQの顔色を見て右往左往している政治家や官僚たちとは異なり、GHQに対して卑屈にならず、流ちょうなBritish Englishを使用し悠然と対応し、GHQの間違った方法などに対して一歩も退かなかったという。また彼のことを評する文章に「プリンシプル」という言葉が必ず出てくる。この言葉は「原則」「規則」「信条」などの意味があるというが、白洲氏を考えると、私は「筋を通す」という言葉が一番よく似合うと思う。

白洲次郎は、自己の中に「凜」とした信条をしっかり持ち、ぶれない思考と行動が周囲の人から信頼を得ていたのだろう。



敗戦処理が終了するとともに政界から姿を消してしまった。そこには彼のプリンシプルな考え方があり、日本国を正しい方向へ向かわせるためだけの行動だったのだ。まさに凜々しい男である。

本会の会員数は毎年増加しているが事業収支では赤字が続いており、本年度は5%の経費削減を行いながら事業を展開している。JARTの事業は全国にまたがり展開するため、どうしても経費はかかってしまう。しかし、本会が目指すものは「ぶれず」に展開しなければならない。地域技師会とも、今以上にコミュニケーションを図り、互いに尊重し合える組織づくりが必要だ。また地域技師会との「絆」を強くするためにも、まずは会員全員が納得できる透明性・公平性を持った組織を構築することも重要だ。

本年度の新しい執行体制が決まった。開かれた組織構築のために「凜」とした気持ちで会運営へ臨んでいこうと思う。

(文責：江田哲男)

INFORMATION

最終回

第34回日本診療放射線技師学術大会

山口への道 下関ってこんなところ!

副大会長 三輪光良

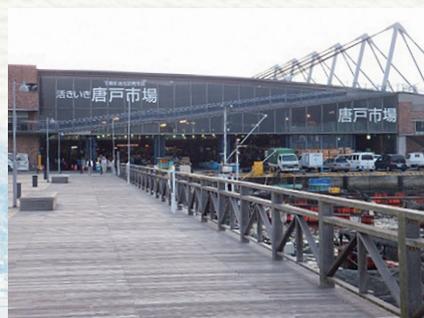
(山口県診療放射線技師会 副会長)

モーニングRUN in 下関

今月で「山口への道」は最終回となり、いよいよ山口大会開催まであと2カ月足らずと迫ってまいりました。第34回日本診療放射線技師学術大会に山口県色を少々出しつつ、より魅力ある大会を目指して山内大会長を中心に準備も最終段階となっております。

今年のメインテーマは「国民と共にチーム医療を推進しよう」で、サブテーマを「時代の潮流を見極める」と致しました。今年、明治維新150周年を迎えるということで、山口県は維新胎動の地として大変盛り上がっております。奇兵隊結成の地(下関)で、時代の流れを大きく左右した幕末の志士の思いを感じることも、関門海峡の潮の流れや景色を見て感じることもあると思います。現代の医療においても、われわれが見極めなければならないもの、さまざまなものを感じ、見つけることのできる学会になればと思っております。

さて、今回の学会企画で下関を肌で感じていただくために「モーニングRUN in 下関」という企画を開催することとなりました。大会最終日の9月23日(日・祝)早朝6時に集合の後、スタートします。関門海峡の風に吹かれゆっくりとジョギングを楽しむという企画です。学会開催中には、なかなか観光もできない方も多いと思いますので、下関の景色を楽しみ、またゆっくりとお話をしながら下関の朝を満喫していただきます。今までにないかたちで参加者同士の交流を深めていただくことによって、山口大会の思い出の一つになればと思っております。コースは、走力に合わせて2コース用意しています。下関海峡メッセ(学会場)前をスタートし、本州と九州をつなぐ関門橋近くの「みもすそ川公園」まで行って帰る約6kmのAコースと、そこからさらに関門トンネル(人道トンネル)を通過して九州の門司に渡る約8kmのBコースです。折り返し付近では休憩を入れますので、初心者の方でも楽しめると思います。コースの途中には、赤間神宮・春帆楼・旧英国領事館・唐戸市場などを見ることが出来ます。少々朝が早いですが、観光名所を横目にわれわれと一緒に走って汗を流してみませんか。





第34回 日本診療放射線技師学術大会

The 34th Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT)

第6回 アジア放射線治療シンポジウム

The 6th Asia Radiotherapy Symposium (ARTS)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

—時代の潮流を見極める—

The Direction of Tomorrow

会期
Date

平成30年
9月21日(金)~23日(日)

September 21st (Fri) -23rd (Sun), 2018

会場
Venue

海峡メッセ下関
下関市生涯学習プラザ

KAIKYO MESSE SHIMONOSEKI /
Shimonoseki City Lifelong Learning Plaza

会長
President

中澤 靖夫

(公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

山内 秀一

(一般社団法人 山口県診療放射線技師会 会長)

Shuichi Yamauchi (The Yamaguchi Association of Radiological Technologists)

URL:<http://www.convention-w.jp/jcrt34>

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host: The Japan Association of Radiological Technologists

共催: 一般社団法人 山口県診療放射線技師会

Cosponsor: The Yamaguchi Association of Radiological Technologists

後援: 厚生労働省(予定)

Support: Ministry of Health, Labour and Welfare

山口県(予定)

Yamaguchi Prefecture

下関市(予定)

Shimonoseki City

運営事務局 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ

Congress Secretariat

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階 TEL:086-259-5578 FAX:086-250-7682 E-mail:jcrt34@wjcs.jp

Nippon Travel Agency Co.Ltd. Chu-shikoku Convention Group 2-1-7, Ekimae-cho, Kita-ku, Okayama, 700-0023, JAPAN Phone: +81-86-259-5578 Fax: +81-86-250-7682 E-mail: jcrt34@wjcs.jp

INFORMATION

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定:

京 都	7月 1日(日)	ホテルセントノーム京都	和歌山	7月 1日(日)	セイコーメディカル株式会社 3階会議室
高 知	7月 1日(日)	総合あんしんセンター 2階本会事務所 会議室	沖 縄	7月 1日(日)	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 2階大講堂
大 分	7月 7日(土)	会場(調整中)	宮 崎	7月 7日(土)	宮崎市郡医師会病院 看護研修棟
富 山	7月 8日(日)	富山大学附属病院 管理棟 2階大会議室(中)	山 口	7月 8日(日)	山口県総合保健会館 第2研修室
長 崎	7月 8日(日)	JCHO 諫早総合病院 A棟 2階カンファレンス室	新 潟	7月14日(土)	新潟大学医歯学総合病院
福 井	7月21日(土)	福井県立病院 5階大会議室	岐 阜	7月21日(土)	シティホテル美濃加茂
佐 賀	7月21日(土)	NHO 佐賀病院 4階会議室	長 野	7月21日(土)~22日(日)	スカイランド きよみず
石 川	7月22日(日)	石川県済生会金沢病院 2階討議室	三 重	7月22日(日)	鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス B講義棟 1階3513教室
滋 賀	7月22日(日)	市立大津市民病院 放射線治療棟 2階カンファレンス室			
島 根	8月11日(土・祝)	えだクリニック整形外科リハビリテーション科 PICTORU いずも画像診断室 2階休憩室			
神奈川	8月26日(日)	会場(調整中)	広 島	8月26日(日)	JR広島病院

INFORMATION

7月・8月の講習会などスケジュールのご案内

- 医療画像情報精度管理士セミナー: 東 京 7月28日(土)
- 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同公開市民講座: 愛 知 8月 4日(土)
- Ai(死亡時画像診断)症例報告会: 東 京 8月25日(土)
- 認定資格試験: 東 京 8月26日(日) 大 阪 8月26日(日)
- 国際認定試験: 東 京 8月26日(日)

INFORMATION

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程:
www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程:
www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html



業務拡大に伴う統一講習会



診療放射線技師基礎技術講習

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

事務所
案内

執務時間: 月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。